

婦美地区に

移住定住促進住宅3戸を整備

入居者・利用者募集中

全国から積丹町への移住を希望する世帯を対象に、町内での生活を居住面で支援する、移住定住促進住宅への入居が開始されています。

昨年、国の過疎対策支援事業「定住促進空き家活用事業」により、婦美地区の3戸（2棟）の町所有住宅の改修整備を行いました。

5月から町ホームページに掲載し入居希望者を募集、人口の増加と地域活性化をめざしていきます。

定住促進住宅（1棟2戸）は、

町内に住民票を移し定住を目指す世帯を対象に、月額1万5千円の家賃で3年間を期限に利用できる住宅です。

入居者第1号となった嘉村英里子さんは、知人と共に農業に従事しようと佐賀県から移住しました。

「積丹での初めての夏は、佐賀と比べると涼しく快適でした。農作業は学ぶものが多く大変ですが、やりがいを感じています。まず、3年間、頑張ります。」と笑顔で話してくれました。

定住促進住宅入居条件

◆住宅の概要

構造：木造2階建（約110㎡）
家賃：月額15,000円
利用年数：1年以上3年まで

◆入居条件

- ・入居時に積丹町に住民登録が可能なこと。
- ・暴力団員でないこと。
- ・連帯保証人2名をつけること。
- ・規則を遵守できること。



移住体験住宅使用条件

◆住宅の概要

構造：木造平家建（約112㎡）
使用料：最初の7日間まで14,000円以後加算有
利用日数：7日以上90日間まで

◆使用条件

- ・使用者は民法に定める親族のみであること。
- ・暴力団員でないこと。
- ・使用後は清掃すること。
- ・規則を遵守できること。



移住体験住宅（1戸）は、町内での生活を体験したい世帯を対象に、7日から90日間、使用期間に応じた使用料の支払により利用できる住宅です。

この住宅には、家電製品や食器・什器が備え付けられ、水洗トイレやユニットバスも整備されており、来町してすぐに居住できるようになっています。（生活品や食材、調味料などは利用者が用意する必要があります。）



▲じゃがいも畑で作業する嘉村英里子さん

長島真太郎君（美中3年）

全道中学軟式野球大会に出場

夏！後志の仲間と戦う

長島真太郎君（美中3年・婦美町）が8月15日から札幌市麻布球場などを会場に開催された、第32回道中軟野連旗争奪全道中学軟式野球大会に、後志選抜チームの一員として出場し、

後志管内の他中学のメンバーと共に、全道の強豪と熱戦を繰り広げました。

長島君は、小学校から野球を始め、中学校3年間も野球部に在籍し野球を続けましたが、部員数の少なさから他校との合同チームで公式試合を戦うなど、思うような練習や試合ができないうこともありました。

3年間一生懸命野球に取り組んできた3年生の活躍の場と、全道のレベルを知ってもらうことを目的に、今大会の後志代表「後志共和クラブ」に、同チーム選手以外の後志管内6中学校の3年生、7選手を招集し、全道大会に参加したものです。

長島君はリリーフ投手として大会に出場。2回戦では5回一死満塁で救援に立ち併殺打に打



ち取ると、6・7回をそれぞれ三者凡退に抑え3対2の接戦を制するなど、2試合で4回2/3を投げ、一人のランナーも出さない好投で、チームの勝利に貢献しました。

長島君は「チームの練習を通じて色々なことを学ぶことができ、成長できたと思う。また、全道大会という高いレベルの中で自分の力を試すことができ、また、チームとして戦いもでき自信が持てました。」と、この夏の体験を語ってくれました。高校に進学しても野球を続けるという長島君の活躍を期待し応援したいと思います。

